

団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名：アフガニスタン

日付：2021年7月15日

報告書名（資金）：令和3年度 完了報告書（JPF）

令和3年度 JPF 完了報告書

事業名	クナール県における国内避難民・帰還民への教育及び水衛生支援 Emergency Education and WASH Assistance to Returnees and IDPs in Kunar Province, Afghanistan	
事業対象地	アフガニスタン クナール県	
事業期間	2020年3月27日～2021年3月26日	
公的資金種別	ジャパン・プラットフォーム	
予算	40,007,055円	
事業の成果	クナール県の対象中学校2校で学ぶ国内避難民・帰還民である子ども1,280人、教員24人およびコミュニティメンバー16人の教育や水衛生サービスへのアクセスを改善し、保護リスクを軽減することができた。	
成果の達成度	1. 仮設教室の設置を実施した（3棟9教室）。 2. 教室備品、教育用教材の設置・配布 3. 水衛生施設（女性用トイレ1基（4部屋）、貯水タンク2基、手洗い場2箇所（蛇口18箇所）の設置を実施した。 4. 対象校2校において、学校運営委員および教員に対して衛生管理者研修を実施した。 5. 20人の学校運営委員会に対して仮設教室および水衛生施設の維持管理に関する研修を実施した。	国内避難民、帰還民、ホストコミュニティ 男子生徒900人 女子生徒380人 男性教員24人（女性教員0人） 小計1,304人／2校 コミュニティメンバー16人 小計16人／2校 合計1,320人
学びと提言	新型コロナウイルス感染症（以下COVID-19）の影響によって、感染予防に配慮した上での事業調整、実施となったが、感染予防に十分留意することで、目立った遅延や事業の変更もなく、目指す成果の達成が可能であることが判明した。コミュニティや事業運営関係者とともに感染予防を実践しながら、衛生啓発研修を実施することで、さらに理解を深めることができたことは大きな収穫であった。また、本事業は、ほぼすべての活動の実施において、学校運営委員会のメンバー、行政、学校と頻繁に意見交換を行いながら実施した。立場の異なるメンバーによる異なる視点（コミュニティの視点、子どもの視点、女性の視点など）から、対象校が抱えている課題および解決のアプローチなどに関して議論を行っていくためには、どの参加者も公平に意見を述べることのできる環境づくりといった配慮を行うことが非常に重要であった。	